

道徳授業地区公開講座 簡易指導案

令和7年9月20日（土）

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	第3学年	場所	各教室

□本時のねらい

学習指導要領〔B 友情、信頼〕友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

□生徒の特性・課題

中学生の時期は、同世代によき理解者を求め、互いに心を許し合える友達を得たいという願いが高まってくる。しかし、自分が傷つくことを恐れるあまり、自分を抑えて同調したり、表面的な言動で接することで最初から一定の距離をとったりする者も出てくる。

本資料を通して、相手に対する敬愛の念が根底にあればよりいっそう深い友情が構築されることに気づかせ、信頼を基盤として成り立つ友情が人間としての生き方の自覚を深めるうえで尊いものであることを理解させたい。

□主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

【導入】（5分）

友達について考えていることを出し合う。（アイスブレイク）

発問1 友達って何だと考えますか？

発問2 友達と意見が割れたときどうしますか？

●個人→近くの人→全体での共有（挙手・指名）

【展開】

・本文を通読する。（10分）

・指導者による内容説明。

「本教材の、主人公と友達との間に生じた、意見の違いをどのように消化していくか。その過程にはどのような葛藤があったのか。ということを通じて、自分たちの学校生活に落とし込み、『真の友情』とはどのようなものなのかを考えていきたい。」

●『僕』の行為は友達を裏切ったのか考える。（10分）

発問3 「僕」は友達を裏切ったとあなたは考えますか？

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座①）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

●『真の友情』とは何かを考える。また、『真の友情』に必要なものは何かを考える。（10分）

発問4 『真の友情』とはどんなものだと考えましたか？また『真の友情』を築くために必要なものは何だと考えましたか？

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座②）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

【まとめ】（10分）

●発問5 この授業を通して人間としての生き方や友達との関わり方についてあなたが考えたことをまとめよう。

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座③）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

Google フォームは

Google classroom→3学年総合→授業→トピックフィルタ「道徳関係」を選択で見られます。

道徳地区公開講座①、②、③の順番で実施してください。当日8時に公開設定済みです。

所 感